

かみよど はっさくつなひ
上淀の八朔綱引き

よなご
【鳥取県米子市】



この行事は、豊作や無病息災を祈願して綱引きを行う行事で、米子市淀江町福岡の上淀地区で毎年八朔の日（旧暦8月1日）に近い9月第1日曜日に行われています。

当日は、集落の人々が天神垣神社に集まり、わらで「クチナワサン」と呼ぶ大蛇を作り、できあがったクチナワサンを担いで天神垣神社境内に祀った荒神の神木の周囲をまわります。

その後、集落の通りに移動して上手・下手に分かれて綱引きを行い、豊凶を占います。上手が勝てば山手の田が豊作になり、下手が勝てば下の田が豊作になるといわれています。

開催場所	天神垣神社及び上淀集落（米子市淀江町福岡の上淀地区）
開催時期	毎年9月第1日曜日
アクセス	JR山陰本線「淀江駅」より車で10分 米子道「淀江IC」より車で5分
問い合わせ	米子市淀江振興本部淀江振興課 ☎ 0859-56-3164

淀江町は豊かな自然に抱かれ、悠久の昔からの歴史と文化の香りあふれる古代ロマンを体験できる町です。

上淀地区にある「白鳳の里」は、埴輪づくりや火おこし等の古代体験ができる「伯耆古代の丘公園」、文化財で歴史を学べる「上淀白鳳の丘展示館」、美肌の湯として人気の「淀江ゆめ温泉」の3つの施設からなる一大レジャー施設です。

まつ ひょうげ祭り

たかまつ
【香川県高松市】



ひょうげ祭りは、江戸時代に水不足解消のため、新池を築造した矢延平六（やのべへいろく）の徳を偲び、水の恵みに感謝し、豊作を祝うお祭りです。

讃岐では、ふざけて踊ることを「ひょうげる」といいます。祭りでは、色鮮やかに化粧をし、仮装した大名行列が、浅野地区の集落研修センターから新池までの約2キロの道のりをひょうげながら練り歩き、最後には、若い衆の担ぐ神輿が水しぶきをあげて新池に投げ込まれ、祭りは最高潮に達しフィナーレを迎えます。

開催場所 高松市香川町浅野（浅野地区集落研修センター～新池）

開催時期 毎年9月の第2日曜日

アクセス ことでんバス塩江線「竜満池」下車、香川総合センターまで徒歩5分。
香川総合センターより、行列の出発地点または到着地点まで無料送迎バスが運行（13:00～17:00）。
無料の臨時駐車場：川東小学校グラウンド（13:00～17:30）

問い合わせ 高松市文化財課 ☎ 087-839-2660

香川県はため池の数が日本で3番目、面積当たりのため池数では日本一です。祭りの行われる新池は、貯水量が120万㎡と県下でも有数の規模を誇るため池です。

また、うどん県としても知られていますが、新池の近くにも多くのうどん店があり、それぞれのお店で自慢の讃岐うどんが楽しめます。

まつ おしろい祭り

あさくら
【福岡県朝倉市】



「おしろい祭り」は、収穫した新米の粉を水に溶いておしろいにし、顔に塗りつけるお祭りです。新穀の豊作を神に感謝し、来年の五穀豊穡を祈願する大山祇神社の伝統行事で、300年以上も続く全国でも類のない奇習とされています。

おしろいが顔によく付くほど、その次の年は豊作だといわれ、このおしろいは家に帰るまで洗ったり落としてはならず、火の中に入れると火事になり、帰って牛馬の飼料に混ぜて飲ませると無病息災だといわれています。

開催場所 大山祇神社（朝倉市杷木大山）
開催時期 毎年12月2日
アクセス JR久大本線「筑後大石駅」から車で約15分
大分道「杷木IC」より車で15分
問い合わせ 道の駅 原鶴 インフォメーションセンター
☎ 0946-62-0730

九州最大の一級河川筑後川に面する原鶴温泉は、源泉の数も多く、福岡県内では随一の湧出量を誇る温泉です。温泉の玄関口にある「道の駅 原鶴」では、周辺の観光情報などの提供のほか、駅内の物産館では地元でとれた新鮮な特産品の展示・販売が行われています。

ぬきほさい
拔穂祭

かしま
【佐賀県鹿島市】



拔穂祭は、祐徳稲荷神社の御斎田（ごさいでん：神様に供える米を栽培する田んぼ）においてお供えする稲穂を刈り取るお祭りで、300年以上続く伝統行事です。

6月の「お田植祭」で植えられた稲穂を、早乙女姿の巫女たちが鎌で収穫します。最初に御本殿で豊年の舞が行われます。その後に御斎田へ移動し、数人の巫女が豊年の歌を笛で奏でながら、稲の収穫を行います。奉納されたお米の一部で甘酒が作られ、12月の新嘗祭のお火たきで参拝客に振る舞われます。

開催場所	祐徳稲荷神社（鹿島市古枝乙1855）
開催時期	毎年9月下旬～10月上旬
アクセス	JR長崎本線「肥前鹿島駅」下車、鹿島バスセンターから祐徳バスで15分「祐徳神社前」下車 長崎道「武雄北方IC」より国道34号線経由、国道498号線より鹿島方面へ（3000台収容無料駐車場あり）
問い合わせ	祐徳稲荷神社 ☎ 0954-62-2151

祐徳稲荷神社は、「日本三大稲荷」の一つに数えられている神社で、豪華で鮮やかな外観から「鎮西日光（ちんぜいにつこう：九州の日光東照宮）」と呼ばれています。本殿の先には奥の院へ向かって朱色の鳥居が続き、奥の院からは有明海まで一望できる絶景が広がります。

参道の門前商店街には、約400mの道のりに食事やお土産の店が立ち並びます。

しち 節祭

たけとみちょう いりおもてじま
【沖縄県竹富町／西表島】



農作物の収穫を感謝し、来年の豊作を祈願する、節替わりの正月儀礼。西表島の節祭は、今から約500年前から伝承されたといわれています。

農作の感謝と五穀豊穰、健康と繁栄を祈願する祭で、毎年旧暦の10月前後の己亥に行われます。祭りの2日目には世乞い（ユークイ：五穀豊穰をもたらす神を迎える神事）を行い、神を迎えるための船漕ぎや奉納芸能が行われます。

開催場所 祖納公民館、前泊浜・干立公民館、前の浜
開催時期 毎年11月頃（旧暦9～10月の己亥の日から3日間）
アクセス 西表島上原港までは石垣港から高速船で約40～60分。上原港から祖納・干立地区は約8km、車で約20分。干立・祖納間は約1km、徒歩約15分。
問い合わせ 竹富町観光協会 ☎ 0980-82-5445

【写真提供：竹富町観光協会】

周辺情報

島の9割が亜熱帯の原生林に覆われ、イリオモテヤマネコやカンムリワシなど多数の天然記念物を有する自然豊かな場所です。

島には、大小合わせて約40の川が流れており、その多くの河口付近にマングローブを有し、特に仲間川流域のマングローブは雄大です。



冬は農閑期となります。寒さの厳しいこの時期には、魂を
元気づけ、新たな歳の無病息災、五穀豊穡を祈ります。

代表的なお祭り

左義長（さぎちょう）・とんど焼き

小正月に各地で行われる火祭りです。正月飾りなどを燃やし、その火で
焼いた餅などを食べて、新たな年の無病息災や五穀豊穡を祈願します。

田遊び

春の耕作開始に先立ち、新春にその年の豊作を祈って行う予祝行事です。
神社の拝殿などで田植えなどの農作業の様子を模擬的に演じます。

寒中みそぎ祭り（北海道木古内町）	42
似鳥のサイトギ（岩手県二戸市）	43
加勢鳥（山形県上山市）	44
三島のサイノカミ（福島県三島町）	45
寺野のひよんどり（静岡県浜松市）	46
ぞんべら祭り（石川県輪島市）	47
鳥羽の火祭り（愛知県西尾市）	48
砂かけ祭（奈良県河合町）	49
阿月の神明祭（山口県柳井市）	50
求菩提山のお田植祭（福岡県豊前市）	51
苗代田祭（宮崎県高原町）	52
鉤引き祭り（鹿児島県鹿屋市）	53

かんちゅう まつ 寒中みそぎ祭り

きこないちょう
【北海道木古内町】



北海道木古内町の佐女川神社で、毎年、1月13日～15日にかけて「寒中みそぎ祭り」が開催されます。

みそぎ祭りは、天保2年（1831年）から続く五穀豊穰と豊漁を祈願する神事です。

毎年「行修者」と呼ばれる4人の若者が、1月13日から佐女川神社にこもり、何度も冷水をかぶって鍛錬を行い、15日には4体の御神体を抱いて厳寒の津軽海峡に飛び込み、水をかけあい洗い清める儀式です。

開催場所	佐女川神社、みそぎ浜、みそぎ公園（木古内町字木古内及び本町）
開催時期	毎年1月13日～15日
アクセス	鍛錬を行う佐女川神社まで、JR木古内駅から徒歩15分 水ごりを行うみそぎ浜まで、JR木古内駅から徒歩7分 みそぎ公園まで、JR木古内駅から徒歩5分
問い合わせ	木古内町観光協会 ☎ 01392-6-7357

同時に開催される寒中みそぎフェスティバルでは、14日の夜に打ち上げられる「冬花火の舞」や参加者には記念品が配られる「みそぎ行列」が開催されます。

また、15日の「はこだて和牛魅了フェア・物産フェア」では、木古内町特産「はこだて和牛」を使用した「こうこう汁」や地場の食材をふんだんに使用した「みそぎ鍋」など心も体も温まるグルメが楽しめます。

にたどり 似鳥のサイトギ

にのへ
【岩手県二戸市】



サイトギは、二戸市の似鳥八幡神社で行われる伝統行事で、その年の作柄を占うとともに、五穀豊穡と無病息災を祈願するお祭りです。

サイトギとは、井桁に組んだ高さ約3mの木のやぐらのことです。祭りは、オコモリ、水ごり、裸祭り、火祭りで構成されます。火祭りでは、燃えさかるサイトギを男衆が長い木の棒で揺さぶり、炎と火の粉を高く舞い上げます。この火の粉の舞う方向とオコモリ（炊いた五穀を剣状に盛り、凍らせたもの）の状態で作柄を占います。

火の粉が北側に流れた場合や、オコモリが崩れていたり、虫がついていると凶作になるといわれています。

- | | |
|-------|--|
| 開催場所 | 似鳥八幡神社（二戸市似鳥字林ノ下37） |
| 開催時期 | 毎年1月下旬～2月中旬（旧暦1月6日） |
| アクセス | 東北新幹線、いわて銀河鉄道線「二戸駅」より車で約10分
八戸道「浄法寺IC」または「一戸IC」から車で約15分 |
| 問い合わせ | 二戸市観光協会 ☎ 0195-23-3641 |

周辺情報

二戸駅に隣接した二戸広域観光物産センター「カシオペアメッセ・なにゃーと」は、北東北3県の交流・連携のシンボルとして誕生した施設で、二戸市を中心とした岩手県北、青森県南、秋田県北東、19市町村の特産品が多数そろっており、高さ31mの展望タワーは360度のパノラマを楽しめます。

かせどり
上山市民俗行事 **加勢鳥**

かみのやま
【山形県上山市】



加勢鳥は、五穀豊穰、家運隆盛をもたらす歳神様をお迎えする行事で、今から約400年前の江戸時代初期（寛永年間）に始まったとされる、上山伝統の民俗行事です。

祭りでは、「ケンダイ」というワラでできたミノをかぶった若者が上山城から市内を練り歩き、所々で輪になって踊ります。集まった人々は、加勢鳥たちに手桶から祝いの水を勢いよくあびせ、五穀豊穰や商売繁盛を祈ります。

開催場所	上山城（祈願式）～上山市内（上山市元城内）
開催時期	毎年2月11日
アクセス	祈願式が開催される上山城まで、JR奥羽本線「かみのやま温泉駅」から徒歩約10分
問い合わせ	上山市観光物産協会 ☎ 023-672-0839

周辺情報

上山市内には6地区に温泉が点在する「かみのやま温泉」があります。最も歴史の古い湯町地区や、城下町の面影が残る新湯地区、閑静な高台にある葉山地区など、それぞれに特徴ある温泉巡りを楽しむことができます。

また、日本有数のワイン用ぶどうの産地で「ワインの郷」としても注目されています。